

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
<p>具体的取り組み項目</p>	<p>1. インフラ整備 2. 公用車を電動車に変更 3. ゼロカーボンシティ宣言市（豊橋市）としての内容の充実</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>① 水素ステーション完成 ② 公用車電動化推進 ③ 次世代自動車補正予算台数増</p>	
<p>今回 具体的活動</p>	<p>① インフラの整備 ●パワーコンディショナー更新に係る補助金の拡充 *住宅の太陽光発電設備のパワーコンディショナー更新費用の一部を助成します。</p> <p>② 公用車を電動車に変更 令和5年度 26台⇒38台に増加 全体の6.1%</p> <p>③ 次世代自動車等普及促進事業（電気自動車・プラグインHV・燃料電池車など） 令和5年3月定例会に於いて、次世代自動車購入等補助金の補正予算が組まれました。</p> <p>。</p> <p>EV自動車 = 令和4年度 100台 ⇒令和5年度 175台 PHV自動車 = 令和4年度 55台 ⇒令和5年度 100台 燃料電池自動車 = 令和4年度 9台 ⇒令和5年度 10台</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>
<p>今後の活動</p>	<p>ゼロカーボンシティ宣言都市としての役割・取り組みを明確化し提言が必要。</p>	